学校番号	３０１３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新編地理資料 2020（とうほう） データブックオブ・ザ・ワールド 2021（二宮書店） ウイニングコンパス地理の整理と演習 2021（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理という、空間軸を獲得する。
・現在の世界を、人間側からの論理だけでなく、自然環境の存在を大切に考えて、理解する。
・世界の国々や諸民族の状況を踏まえ、現在の日本の状況も理解する。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象を系統地理的,地誌的の考察し,現代世界の地理的認識を養う。
・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現在の世界の現状に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、よりよき国際社会の形成者として寄与していく日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を地理的観点から考察し、世界の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代の世界の地理に関する諸資料やデータを収集し、必要な情報を選択し、読み取る。様々な地図を読み取理、考察する。必要なデータを地図を作成して表現する。	世界の現状についての基本的な事柄を、地理的条件と関係づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界の資源	・世界のエネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題	○	○	○	○	a:世界のエネルギー・鉱産資源についてその分布や資源・エネルギー問題に動向に関する考察を基に、その利用に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b:世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布の偏り、利用方法の課題やあり方を系統地理的に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界のエネルギー・鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d:資源の種類と利用法、分布やその不均衡やエネルギーのあり方について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査
	世界の人口	・世界の人口 ・世界の人口問題	○	○	○	○	a: 世界の人口についてその分布や動態などに関する考察を基に、人口構成や人口転換、人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。 b:世界の人口について、人口分布の偏りと人口増加の原因、人口構成と人口転換の考え方、人口移動の背景、人口爆発の要因、少子高齢化の仕組みを、系統地理的に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の人口の分布や動態、人口爆発や少子高齢化の事例に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 人口の分布と動態、人口構成の特徴と人口転換の仕組み、人口問題の実態を、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

	世界の工業	・工業の発達と立地 ・世界の工業地域 ・現代世界の工業の現状と課題 ・日本の工業	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○	a:世界の工業についてその発達や立地、工業地域の分布や動向などに関する考察を基に、世界と日本の工業に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b:世界の工業について、その現状とその背景、グローバル化が進む中での課題を、系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の工業生産や地域分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d:各工業や工業地域の特色、分布や動向について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査
	村落と都市	・集落の成り立ち ・村落･都市の立地と形態 ・都市の機能と生活 ・日本の都市	○ 	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	a:村落と都市について、立地や発達･機能、日本の都市の特徴に関する考察を基に、都市と村落に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b:都市と村落について、その発生、発達、機能、構造、特徴について、系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C:都市と村落に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d:都市と村落について、立地、発達、機能や日本の都市の特徴について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

後期	都市・居住問題	・世界の都市・居住問題 ・日本の都市・居住問題	○	○	○	○	a:都市・居住問題について、発展途上国、先進国、日本に関する考察を基に、都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b:都市・居住問題について、その問題の要因と発生の仕組み耶蘇の解決には何が必要かを、系統地理的に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 都市・居住問題に関する事例や統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d:都市・居住問題の特徴や、解決への道筋について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査
	第3次産業	・第3次産業の発展 ・世界の観光業	○	○	○	○	a:第３次産業ついて、現代世界の第３次産業の発展、世界日本の観光業の特徴に関する考察を基に、第３次産業や観光業に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b:第３次産業ににについて、情報化の進展と第３次産業の変化や役割、観光の国際化と多様性を系統地理的に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 商業やサービス業、観光業の特徴や動向に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d:商業やサービス業、観光業の特徴や動向について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

	貿易	・私たちの生活を支える貿易 ・現代世界の貿易の現状と課題 ・日本の貿易の現状と課題	○ ○	○ ○		 ○ ○	a:現在世界の貿易と経済圏について、その動向などに関する考察を基に、世界経済の現状や日本の貿易や経済に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b: 現在世界の貿易と経済圏について、多様化する貿易や貿易の地域差、経済圏と貿易のあり方を系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 貿易に関する用語や経済圏の組織、世界の貿易の特徴や動向などについて、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,d: ワークシート 定期考査
	防災と環境問題	・日本の自然の特徴と防災 ・世界の環境問題	○	 ○	○	 ○	a:日本の自然の特徴と防災、世界の環境問題に関する考察を基に、防災と環境問題に対する関心と課題意識を高め、意識的に追究し、とらえようとしている。 b: 日本の自然の特徴と防災、世界の環境問題について、系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日本の自然の特徴と防災、世界の環境問題に関する統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 日本の自然の特徴と防災、世界の環境問題について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。